

【シンポジウム】 道内の社会的養護経験者の“その後”と パーマネンシー保障の在り方

社会的養護児童の暮らしには「パーマネンシーの保障」が重要だとされています。

パーマネンシー保障とは、彼らが社会的養護を離れた後もずっと続く人や環境とのつながりのことです。しかし、道内の社会的養護児童のその後を見ると、進学や就労のために、里親家庭や施設のあった土地を離れることも珍しくなく、その結果、里親家庭や施設で暮らしていた期間に得た人や環境とのつながりから離れることを余儀なくされています。学校や仕事と彼らが必要とする人や環境とのつながりが必ずしも同じ場所にあるわけではない北海道で社会的養護を経験した子ども・若者たちはその後、どのように生きていくのでしょうか。またそうした彼らの暮らしや育ちを支えるために何が必要なのでしょうか。

このシンポジウムでは道内の社会的養護児童が里親家庭や施設を離れた後、どのような進路選択をしているのか、その時、どのような支援が必要となっているのかについて整理すると共に、彼らの暮らしや育ちを支えるために必要なことについて考えたいと思います。

日時：2022年12月27日（火）15時～18時

場所：オンライン＋対面（北大）

費用：無料（対面での参加人数には制限を設ける場合があります）

【話題提供者】

- ・安田徹（札幌乳児院児童家庭支援センター/自立支援コーディネーター）
- ・堀田豊稔（NPO法人スマイルリング/代表理事）
- ・根本拓也（児童養護施設岩内厚生園/地域小規模施設友和）
- ・永岡鉄平（NPO法人フェアスタートサポート/代表理事）
- ・今西良輔（札幌大谷大学短期大学部/准教授）
- ・井出智博（北海道大学大学院教育学研究院/准教授）



お申込み方法

以下のURL、もしくは右上のQRコードにアクセスし、必要情報を記入して送信してください。

URL：<https://forms.gle/BQdoQW7TbmRZ1pDn8>

（申し込み締め切り：12月24日（土）17時）

締め切り後にご登録いただいたメールアドレスに会場の情報等をお送りします。なお、Zoomへの接続などはご自身の責任で行ってください。

【問い合わせ先】

北海道大学大学院教育学研究院/福祉臨床心理学研究室/井出：fukurin@edu.hokudai.ac.jp

- ・記録、及び研究資料としてZoomを録画しますので、名前や画像が表示されたくない場合には、当日、仮名や画像無でご参加ください。
- ・本シンポジウムは北海道開発協会の助成を受け、北海道大学大学院教育学研究院附属子ども発達臨床研究センター/子ども臨床研究部門「研究と臨床のための交流会」の一環として開催されます（主催：北海道大学大学院教育学研究院/福祉臨床心理学研究室）。

